



TVや新聞ではよく耳にする 「グローバル創業・雇用創出特区」は 具体的にはどういうこと？

特区とは、その地域だけに認められる規制緩和などによって様々なチャレンジをする特権を与えられている「特別区域」のことです。日本経済を再生させるためには、価値観やニーズの変化に対応した新しい商品やサービスを生み出し続けていく必要があります。そこで福岡市の特区では、新しく事業を始める「創業」や既存の企業が自社の強みを生かして新しい分野にチャレンジをする「第二創業」を促し、ニーズに合った新しい製品やサービス、これまでにない新しい価値を創り出していくことを目指しています。また、創業を盛んにすることは、全体数の1割に満たない創業後3年以内の企業が雇用全体の約4割を創り出していることから、新規雇

用を増やすことにもつながります。特区によって獲得した国の規制緩和である天神地区の航空法による高さ制限の緩和と福岡市独自の規制緩和等を集中的に実施して、今後10年間で老朽化した30棟のビルの建替えを促す「天神ビッグバン」をスタートさせました。延床面積が1.7倍に増大し、年間の経済効果が8,500億円、57,200人分の新規雇用が創り出されるというビッグプロジェクトです。今、電波法や医療、教育分野での新たな規制緩和実現に向けて取り組んでいますし、これから民間事業者の皆さんがチャレンジしやすい環境づくりに全力で取り組み、福岡市から日本の成長、地方創生を力強くけん引していきたいと思っています。



福岡市は女性がとても多い都市です 女性の活躍を推進するために 取り組んでいることは？

福岡市では、去年から担当課長を設置して、女性が活躍できる環境づくりに力を入れています。女性の活躍を推進していくうえで、どうしても育児や介護といった理由から、その時期には仕事ができなくなるという問題があります。でも、今、テレワーク（在宅勤務）など日本でも色々な働き方ができるようになってきました。福岡市もこうした多様な働き方ができる環境づくりを進めていて、民間企業のワークライフバランスへの取り組みを支援したり、テレワークの普及啓発、導入支援も行っています。また、創業支援の拠点スタートアップカフェでは、女性起業

家による相談対応やセミナーなど創業にチャレンジする女性を支援する取り組みを行っていますので、こうした環境を活かしてぜひ、自分で会社を創ることにチャレンジして欲しいですね。また、スタートアップカフェにある雇用労働相談センターを活用して、これまでにない新しい女性の雇用形態に果敢にチャレンジする企業もどんどん出てきて欲しいと思います。女性が活躍できる環境というのは、結局誰にとっても活躍しやすい環境につながると思いますので、そういう視点で多様性、ダイバーシティが受け入れられる街というのをつくっていききたいですね。

市民も一緒になってアジアのリーダーを 目指していくために 市長から市民に お願いしたいことは？



FUKUOKA NEXT! 福岡市を次のステージへと進めていくのは、行政だけで実現できることではありません。人口増加が続き、企業や本社機能の立地が進んで、住みやすい街、元気な街として存在感が高まっている福岡市に求められる役割は大きく変わってきています。その役割をしっかりと果たし、期待に応えるためには個人や企業、団体、行政などみんなが現状に満足することなく、成長し、生まれ変

わり続けなければなりません。そのために皆さんそれぞれが目標を定め、行動に移したときに、本当に福岡市は次のステージに行くことができると思うんです。ぜひ、市民の皆さん、読者の皆さんも、「○○NEXT!」。ぜひ、自分のNEXT、企業のNEXTを外に向かって宣言し、実践していただければと思います。みんなで力を併せて福岡市を次のステージへと押し上げていきましょう!



新しい価値観を発信していきます!

ナッセめさーじゅが今月からリニューアルしてナッセに変わりました。新ナッセに期待する事をお願いします。
市長 今、福岡市を次のステージへと押し上げる様々なチャレンジ「FUKUOKA NEXT」を推進しています。めさーじゅも福岡市民には親しみのあるものから新しくナッセに生まれ変わったわけですから、ぜひ「ナッセNEXT」を発信し、チャレンジする人達に向けて「こんなものがあるんだよ」という新しい価値観やいろんな選択肢を示していただきたいです。みんながインスパイアされて「自分も頑張ろう」とか「自分もやってみよう」と刺激を与えられるような、そんな「新ナッセ」を期待しています!



福岡市のスローガンを分かりやすく解説願います! 福岡市が目指す アジアのリーダー都市とは？

一言でいうと、徹底的に住みやすい街ということです。東京や上海のようなメガシティを目指すということではありません。福岡市の良さは何と言っても暮らしやすさです。祭りや伝統文化に育まれた人や地域の絆があって、海や山など豊かな自然に囲まれ、空港、駅、港が2.5km圏内に集積し、交通網が充実して都市機能がコンパクトに集約しています。もちろん雇用や仕事

ですが、こうした福岡市の暮らしやすさに磨きをかけて、「人」と「環境」と「都市活力」の三つの要素をバランスよく調和させて、そして、リーダー都市として、世界中の人がこんな街に住んでみたい、こんな都市で働いてみたいという都市像を創り出すことに先頭に立ってチャレンジをしていく。それが福岡市の目指す「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」のイメージです。

コレが福岡市が目指すアジアのリーダー都市!

- ☐ 人や地域の絆が強く、困った時には市民がお互いに助け合えるコミュニティがある
- ☐ 山や海、川などの自然が豊かで、農水産物を安心しておいしく食べることができる
- ☐ 街が安全で、安心して子育てをすることができる
- ☐ 交通機関や商業施設が充実し、都市機能が発達している
- ☐ 市民一人ひとりが能力を発揮できる場所があって、経済活動も盛んである
- ☐ 新しい価値の創出にチャレンジしアジアや世界の都市から尊敬され、目標とされる都市



福岡全体としては盛り上がりがありますが 不足しているかなと 思うことは？

都市としての供給力が不足していると思います。福岡市は9割の方がサービス業などの第三次産業で働いていらっしゃいますので、人を呼び込めることが一番の成長戦略になります。そこで、観光や国際会議の開催、誘致といった交流人口を増やす取り組みに力を入れていて、観光客もすごく増えてきていますし、国際会議の開催件数は5年連続で東京都に次いで全国2位なんです。でも、ホテルが足りない。空港も滑走路が1本で処理能力が限界

に達していますし、国際会議も会議場の空きがなく開催をお断りすることが増えています。せっかく需要があるのに、それに応えるための供給力が不足しているんですね。福岡市をもっともっと成長させるために、今、「FUKUOKA NEXT」といってみんなで福岡市を次のステージへ押し上げていこうというチャレンジをしています。このFUKUOKA NEXTによって供給力のある都市づくりをしっかりと進めていきます。



「FUKUOKA NEXT」。みなさん、それぞれのNEXTを宣言しよう!



福岡市長 高島宗一郎氏

1974年11月1日生
1997年KBC九州朝日放送に入社。福岡の朝の顔としてワイドショーや環境番組のキャスターを務める。
2010年12月に福岡市長就任。都市の成長と生活の質の向上の好循環を創り出すために様々な施策を展開。市税収入が増え、住みやすさに対する市民評価、市政への信頼度が向上。世界で最も住みやすい都市ランキングの10位に選出。
2014年5月国家戦略特区を獲得。規制改革等による新しい価値を生み出す環境づくりに積極的に取り組む。
同年11月、再選。同年12月2期目就任。
「まちを元気にする様々な仕掛け」で全国的にも大注目の若手市長。

ワクドキ おとなの 社会学

もっともっと福岡好きになりたい。
もっともっと我が街、福岡のことを知りたい。
そんな社会人の方に地域の情報を
発信するコーナーです。

目指せ!アジアのリーダー都市 私たちがそう誇れる街へ。

福岡のリーダー高島市長にインタビュー

もっともっと福岡好きになりたい。そのために必要なのは、まず自分たちの住む、働く街を知ることから。そこで「福岡市のことならこの方に聞け!」ということで、高島福岡市長にインタビューして来ました。

ワクドキ
おとなの社会学

あなたの NEXTは？

福岡を次のステージへ押しあげていくという
福岡市のチャレンジ「FUKUOKA NEXT」。
どんなことにチャレンジし、実現を目指しますか？
みなさんに聞いてみました。

読者&編集部スタッフに聞く！ アナタのNEXTは何ですか？

私たちの「○○NEXT」！



KAMUYA NEXTは…

女としての幸せを全て叶えたい！
仕事もテキパキこなして、自由な
時間も大切に、一度しかない人生を
美しく過ごしたいです。

(美容師 KAMUYAさん)

ゆかNEXTは…

まつ毛エクステのお店をオープン
して福岡女性の美意識を高めら
れるように頑張ります。

(接客業 ゆかさん)

じゅなNEXTは…

洋服を通じて、着る人を元気にしたいと思っ
ています。体型をキレイに見せることはもちろん、
肌触りやウエストがゴムになっているなど、
素材、着心地も重視した洋服作りを目指します。

(アパレル企画 じゅなさん)

スーNEXTは…

“脱！今の自分”1人で飲食店に行けない私から脱出！
行動派になりたいです。まずは、1人ご飯、そして旅行。
いつかは語学勉強もして、その先には海外生活も！

(会社員 スーさん)

ゆかりNEXTは…

女性が輝いて、希望や夢を持って自分らしく
働けるそんな会社を作っていきたいと思います。
1人の力は小さいけれど、みんなの力が合わさった
とき大きな力になると思うので、その力で変えて
いけたらというのが私の夢です。

(会社員 ゆかりさん)

こしNEXTは…

子どもを3人産んで楽しい家庭を
築きたいです。いつも家庭を明るくする、
わんぱくな元気な母親が理想。

(会社員 こしさん)

伊集院NEXTは…

業種問わず、人との交流を広げたい！いつでもフット
ワークは軽く、懐も広く、イベントにも積極的に参加し、
色んなことを貪欲に吸収したいと思っています。
年齢だけでなく、人として成長したい！その為にも
英会話スクールも再開する予定です。

(会社員 伊集院さん)

中村NEXTは…

私自身、元気がなくても楽しい誌面を見ると、生きる力が
湧いてきて、目の前が明るくなるんです。だから私も
読者の皆さんが「ナッセを読むとなんか元気が出てきた！」
と言ってもらえる、そんな雑誌を作っていきます！

(編集部スタッフ 中村美穂)

川野NEXTは…

ナッセを通じて、常に読者の方がワクワク、ドキドキする
情報を発信し続け、今以上に福岡が盛り上がるように
人を動かしていきたい！

(編集部スタッフ 川野陽一)

取材を終えて…
さあ、みんなで向おう！
次のステージへ！

福岡は今、様々な仕掛けで全国的にも元
気な都市と注目されている。それは、この
街に住み、働く私たちにとって、とても誇
りなことである。個々の力を集結させ実現
するために行動を起こす…これは職場で
も同じこと。さあ、みなさんも今すぐ宣言
しよう。それぞれのNEXTを！

ワクドキ
おとなの社会学

市長の 横顔

普段の高島市長ってどんな人？
高島市長の横顔を少し覗かせよう！
パーソナルな部分に迫ります！



Q. ニックネームを
教えてください。

A. やはり、皆さん、「市長」や「高島市長」
と呼んでくださいますので、ニックネーム
で呼ばれることはほとんどありません。市役所の
職員は、私の「ない」では「うちの社長
が…」と言っているようですが…笑。

プロレス好き
です！

アビスパ福岡を
応援しています！

なんでも
聞いてください！

温泉が
好きです！

Q. 毎日
欠かさず
する事は？

A. 市長という仕事は何と言っても体が
資本です。健康維持のために、
「ミドリムシ」を毎日飲んでいきます。
おかげでハードな業務をこなせています。



Q. 月のお休みは？

A. 平均したら1日くらいでしょ
うか。休みの日には温泉に行ったり
してリフレッシュしています。市民の皆さん
のために、充実した仕事をするためには、休
むことも大切だと思っています。

Q. 政治家になつて
一番驚いた事は？

A. 市長の仕事というのは、毎日、
「刻みのスケジュール」というこ
とに驚きました。でも、よく時間をオーバー
してしまつので、スケジュール調整の担当者
には苦労をかけています。

Q. 「座右の銘」は
何ですか？

A. 「一日一生」です。朝起きた
ときに生まれて、夜寝る時に死ぬ。
つまり、生きるのは今日一日だと考えること
で、全力を尽くそうと努力することができま
す。これからも一日一日を大切に福岡市のた
めに、今、自分がやるべきことに、これから
も全力で取り組んでいきます。

Q. 県外から
来られた人を
観光で連れて
行くとしたら？

A. 福岡の「モンサンミッ
シエル」です。え？どこか分
らない？東区の志賀島ですよ。両側が
海に挟まれ、まっすぐ島へとつながる道が、
どこなくフランスのモンサンミッシェルの
ようだと思いませんか？いずれにしても、自
然豊かな福岡を代表するスポットだと自信を
持つてお薦めします。

